

古事記・出雲風土記コース

古事記・出雲風土記ゆかりの神社

古事記・出雲風土記ゆかりの神社

①能義神社(30分)

出雲国風土記に野城社(ぬきのやしろ)と記され、
出雲国四大神の一神で、野城大神(ぬきのおおかみ)と記される。



②出雲路幸神社(30分)

出雲国風土記に佐井社(さいのやしろ)と記され、
東西松井の分岐点佐井原にあったが現在地の佐井山に遷した、
この場所は佐井高守社・少彦名命を祀る天神の森であった。



③教昊寺(30分)

出雲国風土記に「舎人郷の中にあり、五重の塔を建つ、教昊僧が造りし所なり。」と記してある

④毘売塚伝承古墳(60分)

出雲国風土記に「安来郷の毘売埼にて、語臣猪麻呂の女子が
ワニに噛まれ命を落とす話あり」この女子(毘売・ひめ)の古墳との
伝承塚が JR 安来駅南東の小高い丘陵上の標高約32mの場所に、
県指定史跡の前方後円墳(全長約42m)がある

